

# 個人投資家さま向け会社説明会



2007年8月3日  
AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD.

## 目次

1. 「イオンクレジットサービス」について
2. クレジットカード業界の現状について
3. クレジットカード事業の取り組み
4. 新たな取り組み
5. 海外事業の状況
6. 株主さまへの利益還元

# 「イオンクレジットサービス」について

## 当社のご紹介

- ▶ 当社は、イオン㈱を中心とする国内最大の流通グループの中で、クレジットカード事業を中心に様々な金融サービス事業を展開しております。



1981年	日本クレジットサービス株式会社として会社設立
1994年	イオンクレジットサービス株式会社に社名変更、株式店頭公開
1995年	香港現地法人 AEON CREDIT SERVICE(ASIA)CO.,LTD.が香港証券取引所へ株式上場
1996年	東京証券取引所市場第二部へ上場
1998年	東京証券取引所市場第一部へ上場
2001年	タイ現地法人 AEON THANA SHINSAP(THAILAND)PLC.がタイ証券取引所へ株式上場
2007年	マレーシア現地法人 AEON CREDIT SERVICE(M) BERHADがマレーシア証券取引所へ株式上場(予定)

## グループ店舗網の活用

▶ 当社は、全国のグループ店舗網を活用して、独占的に会員募集を展開しております。

### <総合スーパー>



435店舗  
(2007年2月20日現在)

### <スーパーマーケット>



755店舗  
(2007年2月20日現在)

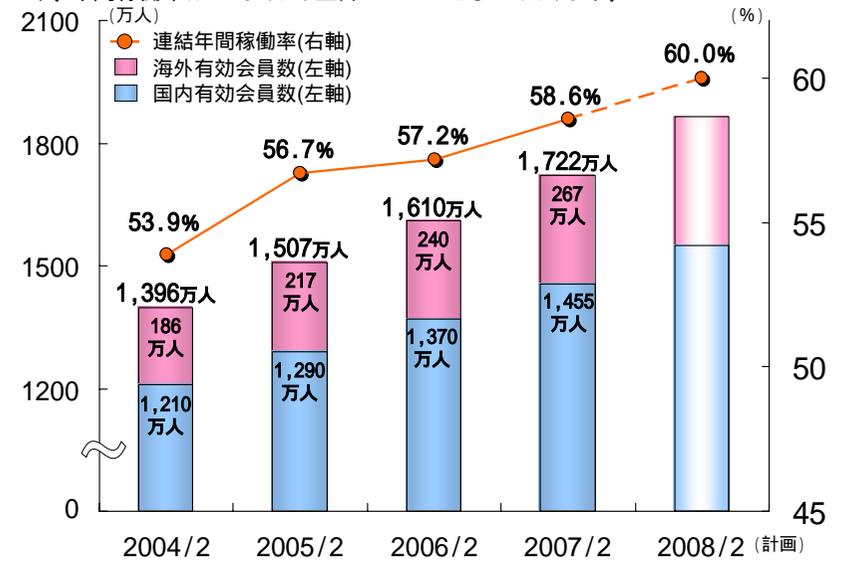
### <コンビニエンスストア>



1,691店舗  
(2007年6月30日現在)

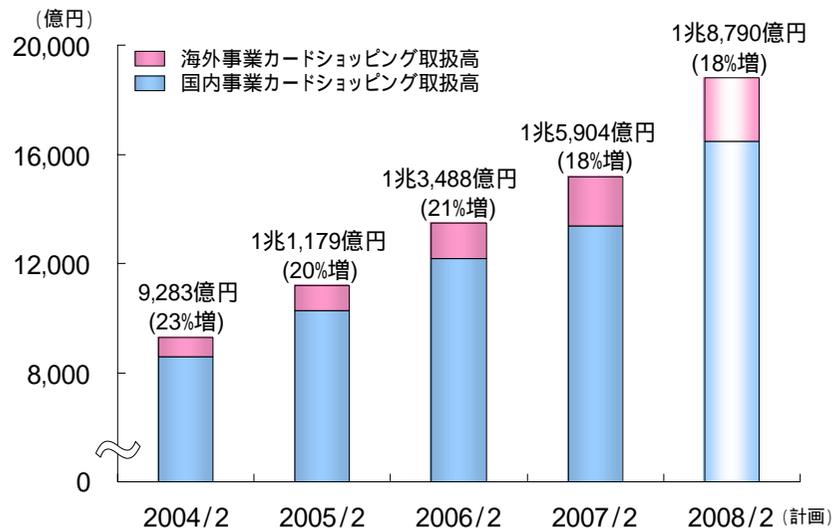
## 有効会員数と稼働率

▶ 有効会員数は国内で1,455万人、海外で267万人となり、計1,722万人に拡大しております。年間稼働率は1.4ポイント上昇の58.6%となっております。



## カードショッピング取扱高の推移(連結)

▶ カードショッピング取扱高は1兆5,904億円 (前期比18%増)



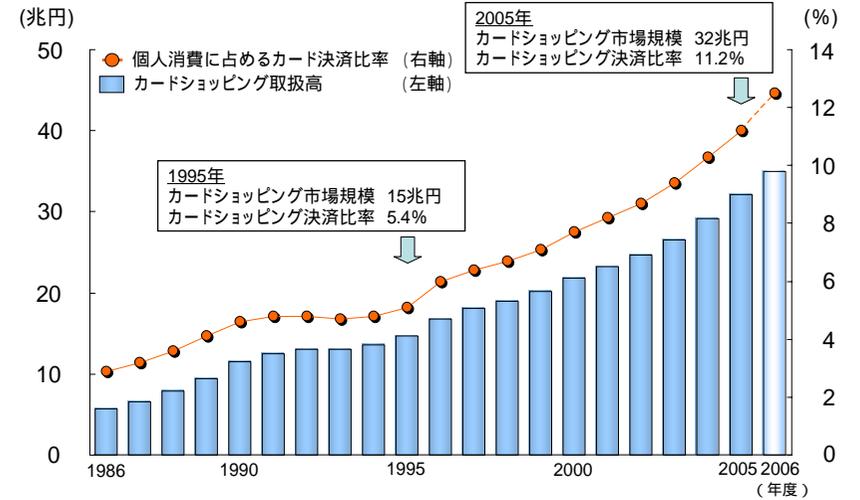
## 業界内順位

会員数順位		取扱高別業界順位	
順位	会社名	順位	会社名
1位	JCBグループ	1位	JCBグループ
2位	三菱UFJニコス (ニコス+UFJ+DC+ジャックス)	2位	三菱UFJニコス (ニコス+UFJ+DC+ジャックス)
3位	クレディセゾン (UCを含む)	3位	三井住友カード (セントラルファイナンスを含む)
4位	三井住友カード (セントラルファイナンスを含む)	4位	クレディセゾン (UCを含む)
5位	イオンクレジットサービス	5位	イオンクレジットサービス
6位	ライフカード	6位	JALカード
7位	オリエントコーポレーション	7位	オーエムシーカード
8位	オーエムシーカード	8位	オリエントコーポレーション

# クレジットカード業界の現状について

## カードショッピング市場規模の推移

▶ カード市場規模、カードショッピング決済割合ともに、10年間で約2倍に拡大。



出所:内閣府「国民経済統計」、平成19年度版 日本の消費者信用統計

## 広がるクレジット決済分野

- ▶ 日常生活の中でクレジットカードが利用できる決済分野が拡大
- ▶ お客さまのニーズに対応し、決済機能を多様化することにより、当社カードの携帯率の向上、少額決済分野の開拓を目指します。



## クレジットカード事業の取り組み

## 当社発行カードのご紹介

 イオンクレジットサービス株式会社



## 提携カードのご紹介

 イオンクレジットサービス株式会社

▶ 当社は、イオンカードを始めとする各種提携カードを50種類以上発行しております。



コスモ石油



マイカル



トイザらス



日本マクドナルド



メガスポーツ



カスミ

## 様々なカード特典のご提供

 イオンクレジットサービス株式会社

▶ ゴールドカード・ETCカードを含む全カードの年会費無料化やお買い物割引特典、映画館割引特典、ポイントプログラム等、多彩な特典をご提供しております。

<年会費無料>



<カード割引特典>



<ポイントプログラム>



## ときめきポイントクラブ加盟店

 イオンクレジットサービス株式会社

▶ ときめきポイントクラブ加盟店でカードをご利用いただくと、通常の2~5倍のときめきポイントをご提供しております。



コスモ石油



ワーナーマイカル



ココス



日産レンタカー



アート引越センター



ワタミ

## ゴールドカードのご紹介

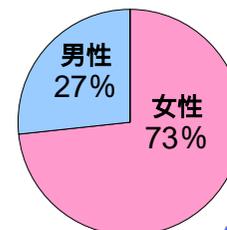
- ▶ カードご利用額が一定額以上(弊社基準)のお客さまを対象に、業界初となる年会費無料のゴールドカードを発行しております。



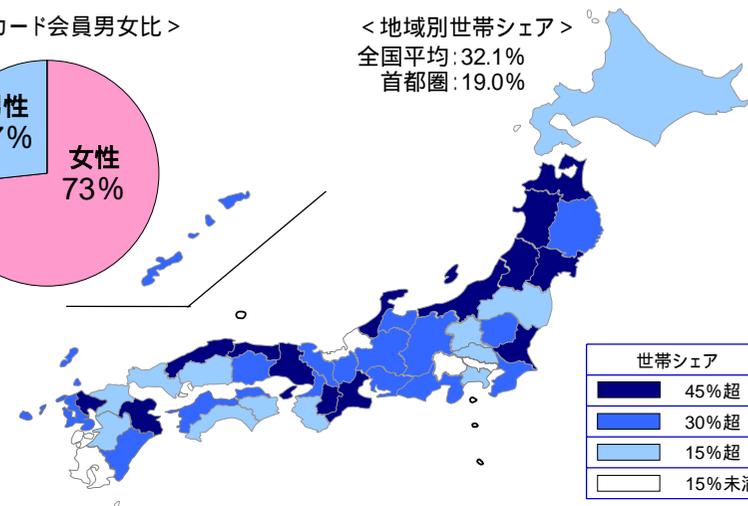
## カード会員の状況

- ▶ 当社発行のカードは、女性層が70%を占める割合となっており、女性に高い評価をいただいております。また、首都圏でのカード会員拡大は今後の課題であり、同時にビジネスチャンスであります。

<当社カード会員男女比>



<地域別世帯シェア>  
全国平均: 32.1%  
首都圏: 19.0%



## 提携カードについて

- ▶ 各業界を代表する企業との戦略的提携

<重点実施分野>

旅行代理店

航空会社

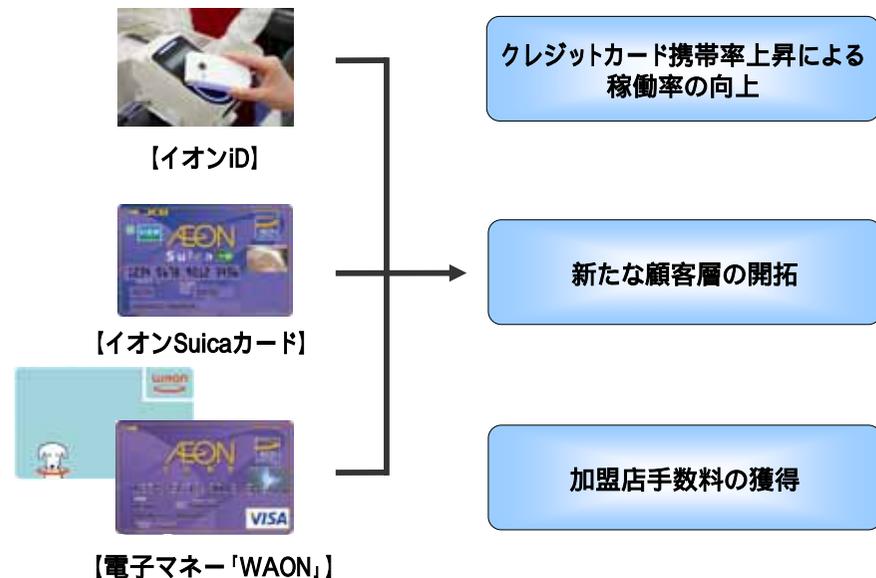
鉄道

高速道路

GMS  
(総合スーパー)

SM  
(スーパーマーケット)

## 電子マネー事業の取り組み



## イオンiDの展開

- ▶ 2006年11月よりNTTドコモと提携し、ケータイクレジット「イオンiD」のサービスを開始いたしました。



ケータイクレジットは、イオンではじめよう。



### Q.イオンiDとは？

サインレス、チャージいらずの少額スピード決済。

イオンiDは、NTTドコモの「おサイフケータイ」でお買い物ができる新しいサービスです。携帯電話にイオンカードの情報をご登録いただくだけで、お支払いは専用端末にかざすだけ！

電子マネーのような事前のチャージや、お買い物時のサインは不要。

今まで何かと面倒だった小銭のお支払いなども、ケータイ一つでOKです。

もっと手軽に、もっとスピーディーに。これからの時代の、「キャッシュレススタイル」

## イオンSuicaカードの展開

- ▶ 2007年2月よりJR東日本と提携し、従来のクレジットカードに乗車券機能・電子マネー機能を付与した「イオンSuicaカード」の発行を開始いたしました。



### Q.イオンSuicaカードとは？

イオンカードとSuicaイオカードが1つになったカード

毎日のお買い物でご利用いただける「イオンカード」と、改札機の読取部分にタッチするだけで切符を購入することなく改札を通過できる「Suicaイオカード」の機能が一体となったカードです。

Suica機能が一体化されている為、電子マネーとしてもご利用いただけます。

## 独自電子マネーWAONについて

- ▶ 2007年4月より電子マネー「WAON」の発行を開始いたしました。



WAONカードプラス

イオンカードWAON一体型

### Q.WAONとは？

WAON(ワオン)は、イオンから生まれた独自電子マネーです。あらかじめチャージしておけば、ワンタッチでお買い物ができる生活に便利なカード。お客様のライフスタイルに合わせて3種類のカードからお選びいただけます。

「WAONカード」(現金チャージ専用)

「WAONカードプラス」(イオンカードに紐づくチャージ可能なカード)

「イオンカード(WAON一体型)」(クレジットとWAON一体型カード)

はイオンクレジットサービス株式会社より発行



## 独自電子マネー-WAONについて

 イオンクレジットサービス株式会社



▶ 年会費 : 無料  
(一部カードには発行手数料として300円がかかります。)

▶ 特典 : 毎月10日は「WAONデー」  
WAONでお支払いいただくと  
お買い物が5%OFF

WAON「ポイント」付与  
お買い上げ金額200円毎に  
「WAON」ポイントを1P付与

### ▶【「WAON」のチャージ方法】

WAON加盟店にあるチャージ機で入金できます。  
チャージ機に「WAONカード」をおいて、現金を入金します。  
当社発行カードには、チャージ機での  
入金が必要となります。オートチャージ機能が加わる予定です。



## 海外事業の紹介

 イオンクレジットサービス株式会社



香港

< 新規提携カードの発行や、サービサー、リース事業の拡大 >



タイ



台湾

< 新規提携カードの発行 >



インドネシア

< 加盟店開発700店舗 >

## 海外事業の紹介

 イオンクレジットサービス株式会社



マレーシア

< 7万人の会員を組織化・株式上場認可の取得 >

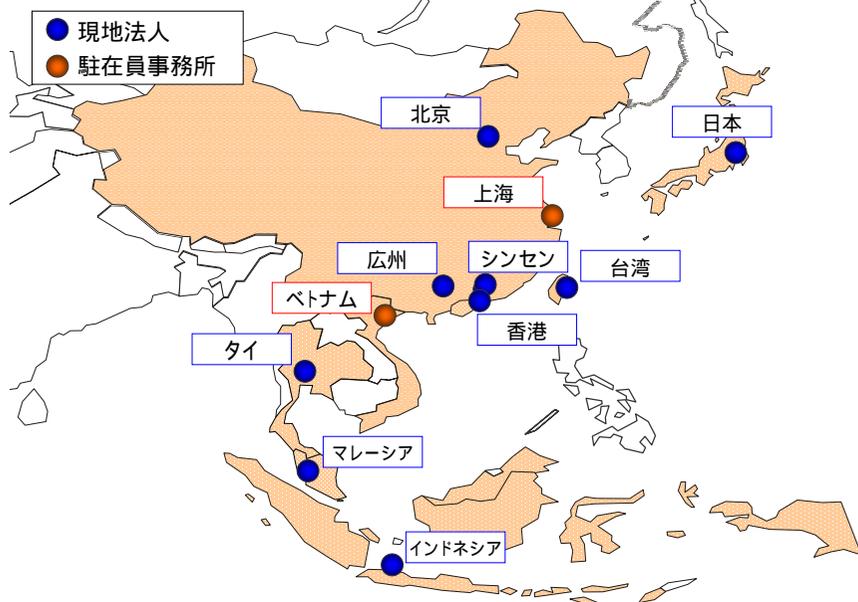


中国

< イオン信用担保(中国)設立・交通銀行と提携した保証ビジネスを開始 >

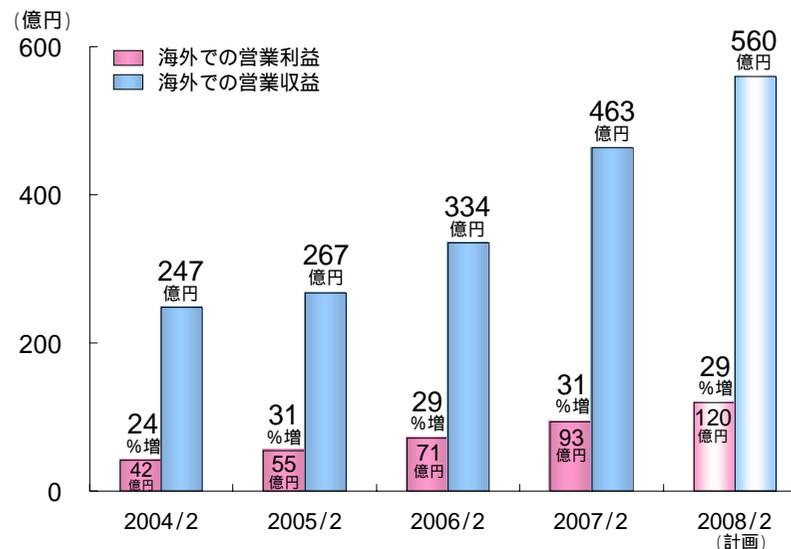


## アジアネットワークの拡大



## 海外事業の業績推移

- ▶ 連結子会社の順調な成長により、営業収益、営業利益ともに拡大
- ▶ 連結営業収益に占める海外事業の構成比が27%まで上昇



## 2008年2月期業績予想

	単独業績		連結業績	
	予想	前期比	予想	前期比
取扱高	1兆5,000億円	115%	2兆8,500億円	115%
営業収益	1,300億円	104%	1,850億円	107%
営業利益	276億円	91%	410億円	100%
経常利益	286億円	90%	412億円	100%
当期純利益	162億円	91%	207億円	101%

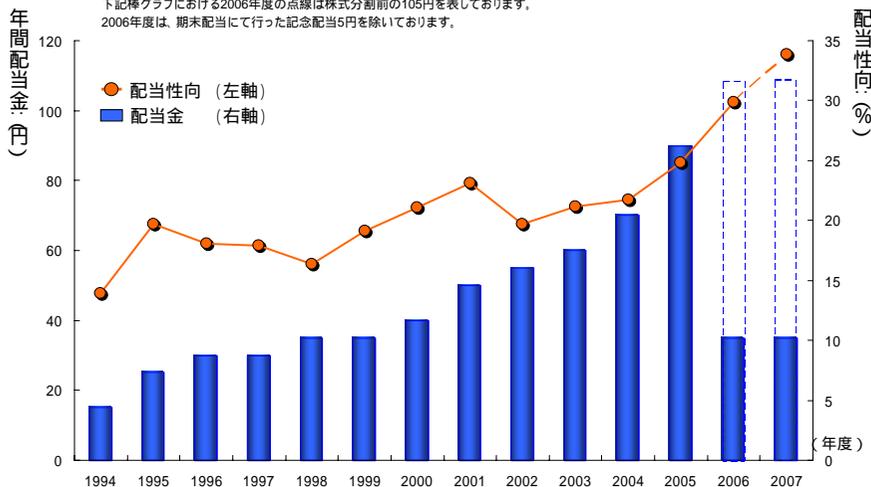
本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。



## 配当金・配当性向の推移

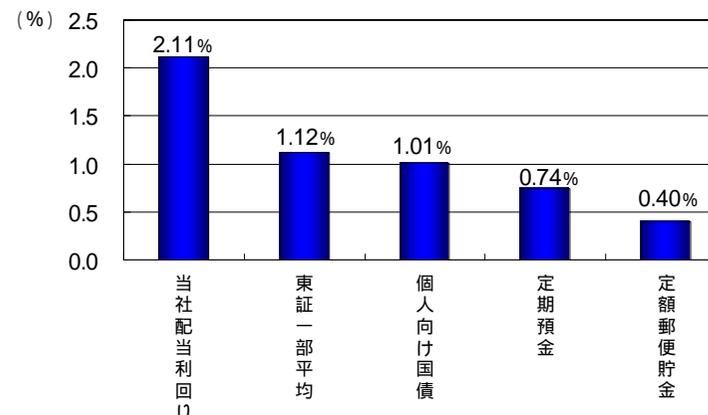
- ▶ 当期は、中間配当金15円、期末配当金20円の年間配当金35円を予定しております。これは昨年の株式分割前に換算すると105円になります。なお、配当性向は33.9%を予定しております。

※ 今期の年間配当予想の35円は、昨年2月21日付けで実施いたしました1:3の株式分割前に置き換えますと105円となります。下記棒グラフにおける2006年度の点線は株式分割前の105円を表しております。2006年度は、期末配当にて行った記念配当5円を除いております。



## 配当利回りの状況

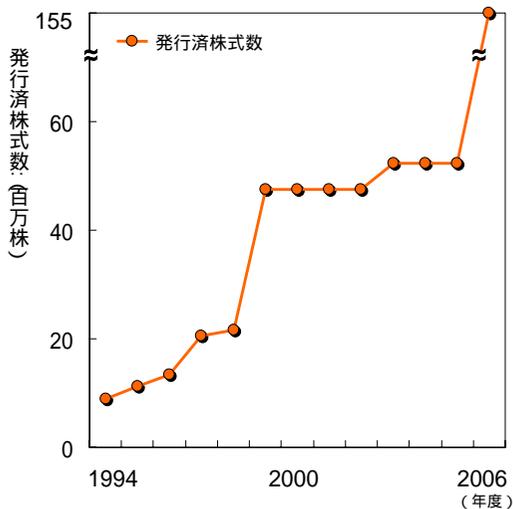
- ▶ 配当利回りは、他の金融商品より高い利回りとなっております。



当社配当利回り : 2007年8月2日株価で算出  
 東証一部平均 : 東京証券取引所6月発表資料  
 個人向け国債 : 個人向け国債 変動10年(第19回)「初回利子適用率」  
 定期預金 : 預け入れ期間10年間・3百万円未満の平均年利率(2007年6月28日 日銀発表資料)  
 定額郵便貯金 : 3年以上預け入れ期間適用利率(2007年7月27日郵政公社報道発表資料)

## 株式分割と発行済株式数の推移

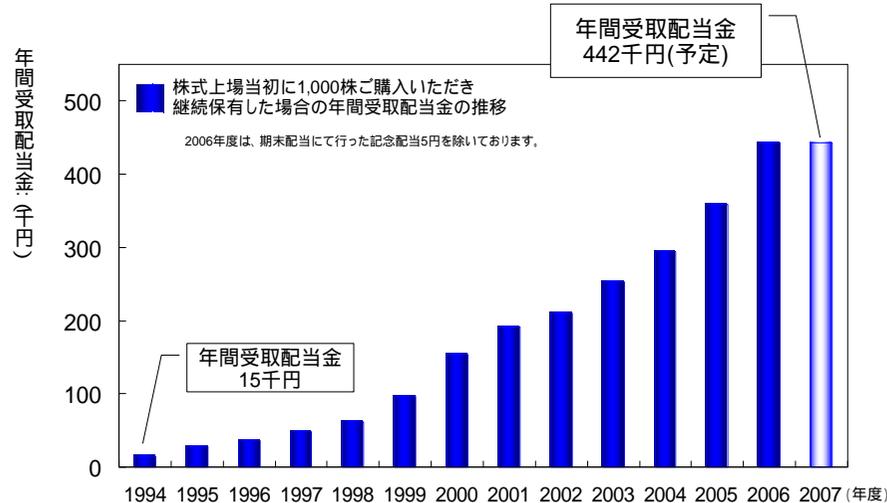
- ▶ 株式の流動性向上と、個人株主層の拡大を図ることを目的に、これまで合計8回の株式分割を実施しております。



年度	発行済株式数	株式分割
2006	156,967,008	1:3.0
2005	52,322,336	-
2004	52,322,336	-
2003	52,322,336	1:1.1
2002	47,565,760	-
2001	47,565,760	-
2000	47,565,760	-
1999	47,565,760	1:1.1, 1:2.0
1998	21,620,800	-
1997	20,620,800	1:1.2, 1:1.2
1996	13,320,000	1:1.1
1995	11,200,000	1:1.1
1994	9,000,000	-

## 年間受取配当金の推移

- ▶ 株式上場当初から1,000株を継続して保有いただいた場合、株式分割と増配により、年間の受取配当金は15千円から442千円に拡大する予定です。



## 事業等のリスク

- ▶ 以下に記載する事項は、当社グループの事業に関して、リスク要因となり、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項であります。なお、以下に記載する事項は、将来に関するものが含まれておりますが、現時点において判断したものであり、また、当社グループの事業に関するすべてのリスクを網羅的に記述するものではありません。

事業等のリスク	想定される影響等
経済環境に関する影響について	貸倒損失の発生等
競争環境に関する影響について	事業、財務状況への悪影響等
法的規制等に関する影響について	適用金利低下、利息返還損失金の発生等
個人情報漏洩等に関する影響について	個人情報保護法による罰則処分等
調達金利の変動等の影響について	借入条件の悪化等
システム運用等に関する影響について	事務処理への支障等
海外事業等に関する影響について	展開地域の業績悪化等
主要な提携先等における会員募集に関する影響について	新規会員獲得や取扱高への影響等

## 会社概要

(2007年2月20日 現在)

社名	イオンクレジットサービス株式会社
代表取締役	森 美樹
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部(証券コード 8570)
発行済株式数	156,967,008 株
単元株	100 株
決算期	2月
連結子会社数	17社(国内3社、海外14社)
事業内容	クレジットカード事業、個品あっせん事業、 保険代理店事業、サーピサー事業 等
従業員数	<連結> 3,937名 <単独> 841名
カード会員数	<連結> 1,722万人 <単独> 1,455万人
本社所在地	東京都千代田区神田美土代町1番地
会社IR情報	<a href="http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/">http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/</a>

## IRホームページのご案内

- ▶ 当社「株主・投資家情報」のホームページでは、最新のニュースリリースやカード取扱高の月次情報をタイムリーに掲載しております。この度、決算資料一括ダウンロード機能や文字サイズ変更機能を追加するなど、みなさまに、より便利で使いやすいご利用いただけるようにIRホームページをリニューアルいたしました。決算説明会や株主総会の動画配信を実施し、情報開示の充実を図っております。ぜひ、お気軽にご利用ください。

<http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/ir>



AEON CREDIT SERVICE CO., LTD.

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。